



ONE TEAMで もっと賃上げ・生活改善
－ 労働条件改善を加速させ、人財の確保・定着につなげよう－

2 0 2 5 年 2 月 6 日

日本鉄道労働組合連合会

2 0 2 5 春 季 生 活 闘 争 方 針 を 策 定

J R 連 合 は 2 月 4 日、大 阪 市 内 で 第 37 回 中 央 委 員 会 を 開 催 し、「定 期 昇 給 相 当 分 の 確 保」「**月 例 賃 金 総 額 18,000 円 (6%) 以 上 の 引 き 上 げ**」「**統 一 ベ ア 要 求 12,000 円 (4%) 以 上**」「柔 軟 な 働 き 方 の 推 進」な ど を 軸 と す る 2 0 2 5 春 季 生 活 闘 争 方 針 を 決 定 し た。

2 0 2 5 春 季 生 活 闘 争 は、「賃 金 も 物 価 も 上 が ら ない」とい う ノ ル ム (社 会 的 規 範) を 変 え る こ と で 個 人 消 費 の 拡 大 を 図 り、賃 金 と 物 価 の 好 循 環 に つ な げ、新 た な ス テ ー ジ を 定 着 さ せ る た め の 重 要 な 取 り 組 み で あ る。J R 連 合 も 社 会 を 支 え る 一 員 と し て そ の 一 翼 を 担 う 必 要 が あ り、動 き 始 め た 賃 上 げ の 潮 流 に し っ か り と 乗 り 込 む こ と が 求 め ら れ て い る。

人 財 の 確 保 ・ 定 着 は、引 き 続 き J R 産 業 の 最 大 の 課 題 で あ り、2 0 2 5 春 闘 を 通 じ て 課 題 解 決 を 図 り、J R 産 業 を 安 定 的 に 発 展 さ せ な く て は な ら ない。そ の た め に、社 会 水 準 を 強 く 意 識 し た 賃 上 げ や 労 働 条 件 の 改 善、多 様 化 ・ 個 別 化 す る 労 働 者 の ニ ー ズ に 対 す る 柔 軟 な 対 応、あ ら ゆ る 人 財 へ の 投 資 の 実 現、J R グ ル ー プ 全 体 で 生 み 出 し た 付 加 価 値 の 適 正 分 配 に よ る 産 業 内 格 差 の 是 正 が 急 務 で あ る。

ま た、春 季 生 活 闘 争 は、職 場 討 議 や 労 使 協 議 を 活 用 し、組 織 強 化 ・ 拡 大 や 労 使 関 係 の 充 実 を 図 る 絶 好 の 機 会 で も あ る。集 団 的 労 使 関 係 の あ り 方 も 論 点 と な っ て い る 労 働 基 準 法 改 正 の 動 向 も 意 識 し な が ら、労 働 組 合 の 存 在 意 義 を 高 め、J R 関 係 労 働 者 の J R 連 合 へ の 総 結 集 に 向 け て、全 加 盟 単 組 が O N E T E A M と な っ て 全 力 で 取 り 組 ん で い く。

2 0 2 5 春 季 生 活 闘 争 ス ロ ー ガ ン

ONE TEAMで もっと賃上げ・生活改善

－ 労働条件改善を加速させ、人財の確保・定着につなげよう－

<賃上げ要求>

1. 定期昇給およびベースアップ等の改善原資

月例賃金総額18,000円(月例賃金総額の6%)以上

内 訳

- (1) 定期昇給
 - ① 定期昇給制度が確立されている単組
 - 1) 年度初における定期昇給の完全実施
 - 2) 定期昇給額が僅少である場合は、制度改善を併せて要求
 - ② 定期昇給制度が確立されていない単組
 - 1) 定期昇給制度の確立
 - 2) 定期昇給相当分として、6,000円(月例賃金総額の2%)の確実な確保を要求
- (2) ベースアップ
 - ① **統一ベア要求は12,000円(月例賃金総額の4%)以上**
 - ② 各単組は、産業内格差是正等の観点から積極的な上積みを検討するなど、それぞれの実態に応じて要求額を設定

2. 要求方式

平均賃上げ方式と個別賃上げ方式の併用

3. 総合生活改善要求

手当偏重型の賃金制度改善、柔軟な働き方の推進、女性活躍推進、格差是正などの観点から、単組の実情に応じて要求を設定